

平成十七年度 冬季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「冬」

期間 平成十七年十一月一日～平成十八年一月末

投句数 一、八一五句

特選三句

天

大仏の左肩より日脚伸ぶ

神奈川県横浜市 伊藤政信

地

鴨しばし陣たて直す平家池

神奈川県茅ヶ崎市 川口愛子

人

探梅行天神様をふりだしに

神奈川県横須賀市 行方二郎

入選句

一般の部

冬うらら鎌倉好きな人ばかり

東京都世田谷区

中村芳子

萩刈られ本堂の灯の素通しに

東京都町田市

竹内弘

新たなる門出祝すや初日の出

神奈川県横浜市

天野博

頼家の哀話の寺の冬紅葉

千葉県浦安市

中村佳世

暗がりにも木魚据ゑある冬座敷

東京都東村山市

岩崎清子

初しぐれ大臣の山の照り翳り

神奈川県鎌倉市

岡田昭

山眠る日差しふかふかあればなほ

神奈川県逗子市

佐藤信子

茶の花を咲かせ精進料理店

神奈川県藤沢市

若松明弘

大仏の胎内出でし四温晴

岡山県岡山市

野上郁子

冬の陽を由比に流すや滑川

神奈川県横浜市

山下省三

初雪や轍残して人力車

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

着ぶくれて小さき踏切渡りけり

神奈川県横浜市

菅原文子

余生ただやすかれと受く破魔矢かな

神奈川県藤沢市

藤井 健

ほどほどに祝へればよし鏡餅

神奈川県横浜市

葭谷健一

笹鳴の声に始まる瑞泉寺

東京都多摩市

中山正喜

実朝の海に鳶舞ふ初御空

神奈川県鎌倉市

萩野英利

手を振れば影も手を振る春隣濱

神奈川県茅ヶ崎市

菅原やす子

雪明り届く観音拝しけり

神奈川県横浜市

柳沢栄蔵

七里浜波おだやかに寒茜

兵庫県神戸市

増田恵美子

富士山と伊豆大島と師走晴れ

神奈川県鎌倉市

山内愛子

(順不同)

入選句

子どもの部

かまくらは冬暖かだよかったな

神奈川県横浜市

蒔田 隼

さまざまな生きものねむりはるを待つ

埼玉県熊谷市

稲葉陽大

鎌倉の七五三の子楽しそう

神奈川県横浜市

北 大河

ずいせんじしぜんがきれいふゆもみじ

神奈川県横浜市

太田百映

冬休みだいぶつみたらうごきそう

三重県津市

藤枝未帆

お年玉ひっしに洗って倍にする

埼玉県さいたま市

白方冬美

ゆきがとけかおを出したよふきのとう

埼玉県春日部市

香稚恵美

冬なのに鳥がいったばい建長寺

神奈川県鎌倉市

伊藤ゆりか

大仏が寒さをじつところらえてる

東京都品川区

油 寿樹

ゆきだるまとけてなくなるかわいそう

神奈川県横浜市

曾根 葵

(順不同)